



# 福島建設工業新聞

発行所  
福島市西中央2丁目59  
(郵便番号960-8074)  
福島建設工業新聞社  
電話(024)534-7456 (大代表)  
©福島建設工業新聞社

## 県建設業協会

# 維持補修WGを新

## 総会で小野会長再選

県建設業協会(小野利廣会長)は22日、福島市のウエディングホテルで第4回定時社員総会を開き、「県土の復旧・復興と除染への対応」「自然災害に備えた防災・減災対策と社会資本整備」など5つの重点目標を掲げた事業計画を報告した。県土の復旧・復興では県民の安全・安心な生活空間の確保のため、復興公営住宅の早期建設や除染、中間貯蔵施設への汚染土等搬入などに会員一丸となって取り組むことを表明。社会資本の維持管理に関する取り組みでは、新たに土木技術委員会内に「維持補修技術検討ワーキンググループ」(仮称)を立ち上げ、地方におけるインフラの老朽化対策や長寿命化についての方策を検討していく。役員改選では小野会長を再選、新たに副会長に佐久間源一郎、菅野日出喜の両氏、専務理事には鈴木武男氏が就いた。

会員ら約270人が出席。初めに小野会長が「本年度は集中復興期間の最終年度に当たり、会員一丸となって復興に取り組む」と語り、専務理事には鈴木武男氏が就いた。

保・育成に向けた取り組みがスタートしており、若者が将来に夢を描ける魅力ある産業とするため積極的な取り組みを展開していきたい」とあいさつ。酒井達雄新道建設代表取締役兼業界功労者に

対する会長表彰と、全国建設業協会会長表彰の伝達を行った。

来賓の皇利行副知事、青木会長(皇利行)らも出席した。

【表彰受賞者】◆会長表彰▽会員等(業界功労者) 亀谷典良(県北・亀谷建設) 酒井達雄(須

また、総会に先立ち講演会を開催。日本総合研究所調査部主席研究員の深谷浩介氏が「夢と希望を与えるために」と題し、人口減少下における持続可能な社会の構築を成し遂げるため、建設業が果たすべき役割について

### 中間貯蔵

## 保管場第2弾の落札決定

### 双葉・前田J、大熊・清水J

環境省福島環境再生事務所は、8日に施工体制確認型総合評価(WTO標準型)一般競争で開札した中間貯蔵施設予定地内の保管場(ストックヤード)整備設置等工事第2弾2件の落札を決定し、22日に公表した。双

葉町は前田・西松・田中特定JV、大熊町は清水・熊谷・鴻池特定JVに決まった。落札額は2件とも7億7700万円(消費税別)。相札は双葉町が鹿島・三井住友・飛鳥特定JV(1JV無効)、大熊町は大熊町特定JV(2JV無効)。

工事概要は土壌等保管場設置と県内の仮置場等からの除去土壌等輸送。造成工事の整地面積は、双葉町5100平方メートル、大熊町7500平方メートル。輸送量は前町仮置場A(輸送距離50キロ)が1000袋、仮置場B(同1500袋)が9000袋、計1万袋。工期28年3月31日。

賀川・新道建設 榊原良子(同・榊原工業) 鈴木次夫(県南・鈴木建設) 藤井文夫(同・藤田建設) 橋本晴子(同・伸和建設) 青木三男(若松日進建設) 佐川藤介(いわき・常磐開発) 横山眞由美(相馬・横山建設) 千田榮之進(同・関場建設) 添田彰(双葉・田中建設) ◆全建会長表彰▽会員等(業界功労者) 松本邦夫(二本松・石橋建設工業) 弓田八平(若松・田建設) 星賢孝(宮下・佐久間建設工業) 佐久間建設工業 岡和田正次(相馬・庄司建設工業) 玉置トシ子(同・石川林業建設) 木幡宗保(双葉・横山建設) 佐藤芳久(同・田中建設) ▽永年勤続事務局長職員(勤続20年以上) 小平浩明(宮下)

した取り組みでは、県が受託した「地域人づくし事業」の就職支援・処遇改善・実践的な教育訓練プログラムをより充実させ、人生を託せる魅力ある産業の構築を目指す。

また、総会に先立ち講演会を開催。日本総合研究所調査部主席研究員の深谷浩介氏が「夢と希望を与えるために」と題し、人口減少下における持続可能な社会の構築を成し遂げるため、建設業が果たすべき役割について

【表彰受賞者】◆会長表彰▽会員等(業界功労者) 亀谷典良(県北・亀谷建設) 酒井達雄(須



建設現場の様子。背景には大きな建物や設備が見え、作業が行われている様子が伺える。

表取締役兼業界功労者に

対する会長表彰と、全国建設業協会会長表彰の伝達を行った。

また、総会に先立ち講演会を開催。日本総合研究所調査部主席研究員の深谷浩介氏が「夢と希望を与えるために」と題し、人口減少下における持続可能な社会の構築を成し遂げるため、建設業が果たすべき役割について